

第1分科会

子どもと地域の未来を紡ぐコミュニティスクールを目指して

～埼玉県ふじみ野市立東台小学校・東原小学校の
統合事例発表～

発 表 者 ふじみ野市立東台小学校 校長 大庭 真紀子
ふじみ野市立東原小学校 学校運営協議会 会長 湯浅 康之

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員等数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
埼玉県ふじみ野市	584名	令和元年度	14名	9回	1名

学校教育目標

○なかよく～認め合い助け合う子～ ○かしこく～自ら考え判断し伝える子～ ○たくましく～健康でねばり強い子～

学校・地域の特徴

昭和48年に開校した本校は、東武東上線ふじみ野駅周辺の区画整理地内にあります。学校周辺は、落ち着いた住宅環境が形成され、今後も児童数の増減は見込まれていません。



学校運営協議会の概要

委員の構成

- 地域学校協働活動推進員
- 管理職（校長・教頭）
- PTA（会長）
- 地域住民（自治会長等）
- 市役所職員（地域福祉課）
- 学校応援団（おやじの会・スクールガードリーダー・読み聞かせボランティア）
- 事務局（県費教職員）

これまでの主な議題例

- 学校運営方針・年間計画の説明・承認
- 学校統合に向けての活動
- 教育課程の検討・教育資源の活用
- 学力状況・学校評価報告
- 学校評価

組織図



地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

- 大井中学校区内の4校（大井中学校・東台小学校・東原小学校・大井小学校）の学校運営協議会と協働したあいさつ運動を実施
- 令和5年度に開校50周年を迎え、記念行事として、NHKの夏季巡回ラジオ体操を開催



夏期巡回
ラジオ体操・みんなの体操会

7/22(土)
あのNHKラジオ体操が東原小にやってくる!!

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員等数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
埼玉県ふじみ野市	105名	平成29年度 モデル校としてスタート	17名	9回	1名

学校教育目標

心も 体も 健やかな子 ○なかよく ○かしこく ○げんきよく

学校・地域の特徴

平成21年に東原小学校から分離して開校した本校は、ユニバーサルデザインを活かした校舎や広々としたオープンスペース型教室、太陽光発電など環境に配慮しながら、児童一人一人の居場所と学びを大切に教育活動を推進しています。



学校運営協議会の概要

委員の構成

- 地域学校協働活動推進員
- 管理職（校長、教頭）
- PTA（会長・本部）
- 地域住民（自治会長等）
- 市役所職員（教育総務）
- 学校応援団（おやじの会・スクールガードリーダー）
- 事務局（県費教職員）

これまでの主な議題例

- 学校運営方針・年間計画の説明・承認
- 学校統合に向けての活動
- 職員と共に語り合う会（教育資源の活用、統合に向けての取組など）
- 学力状況・学校評価報告
- 学校評価
- 教育課程の検討

組織図



```

    graph TD
      EC[教育委員会] <-->|連携| SMC[学校運営協議会  
(ドリーム会議)]
      SMC <-->|連携| STG[学校応援団]
      SMC --- LSCA[地域学校協働活動推進員]
      SMC --- S[学校]
      SMC --- PTA[PTA]
      SMC --- AO[自治組織]
      SMC --- A[行政]
    
```

地域学校協働活動の特徴的な取組や工夫など

令和7年4月の統合に向け、『保護者・地域とともに 歴史を刻む LAST YEAR』をスローガンに、学校運営協議会（ドリーム会議）や学校ボランティアなど、学校応援団を中心とした方々と協働しながら、たくましく生き抜く子どもたちを育て、「共に学び、共に成長する学校」の集大成を目指します。



- 学校統合における学校運営協議会の役割とその効果
- 学校統合に向けた教育課程の工夫
- 新生 東原小学校の学校経営



面積 14.64平方キロメートル

東西 7.5 km

南北 6.0 km

人口 114,442人

学校・児童生徒数

小学校 13校 児童 5,972人

中学校 6校 生徒 2,937人

- 大井まつり

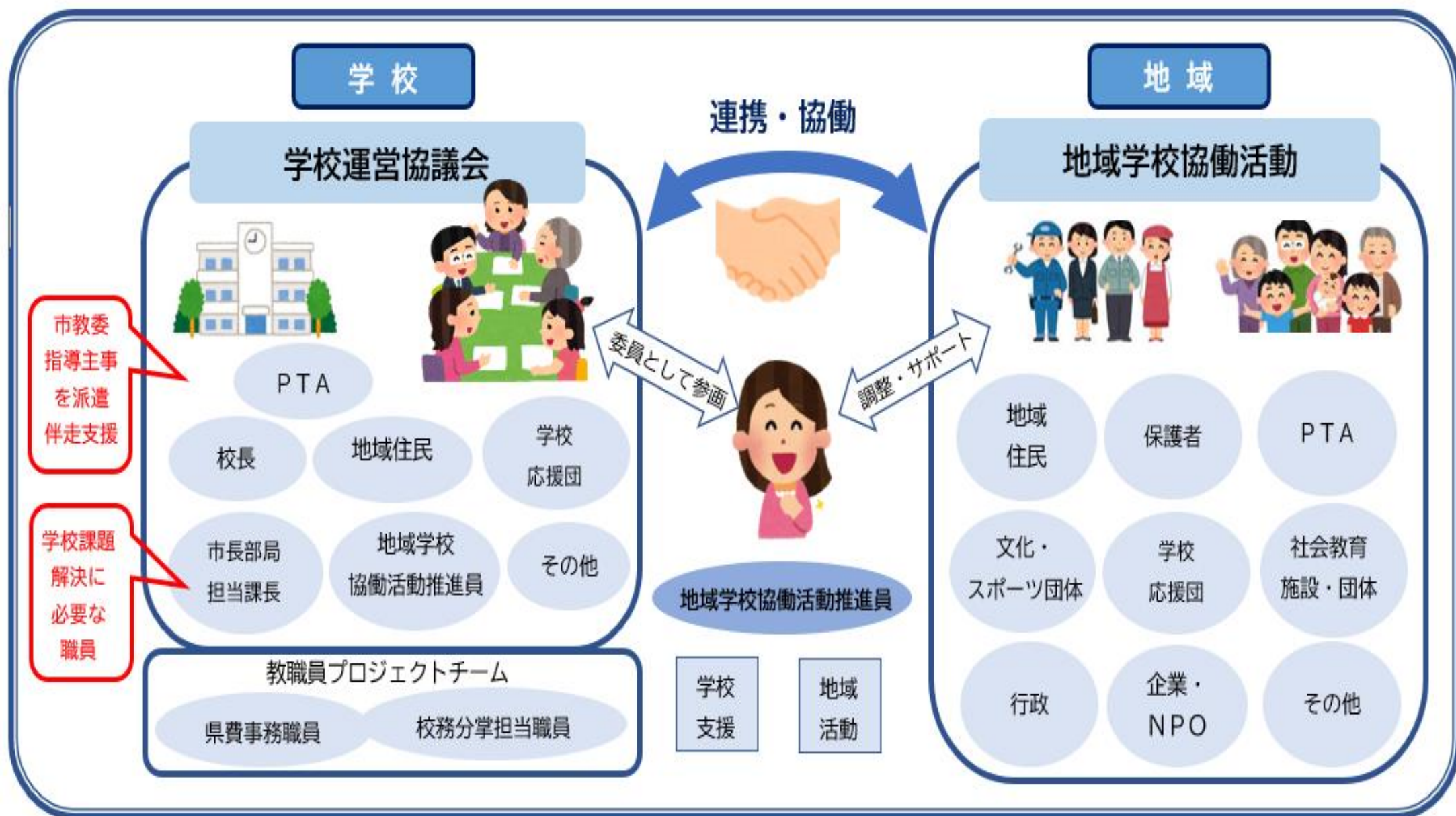


- 回漕問屋福田屋（福岡河岸記念館）



- 世界農業遺産（武蔵野の落ち葉堆肥農法）



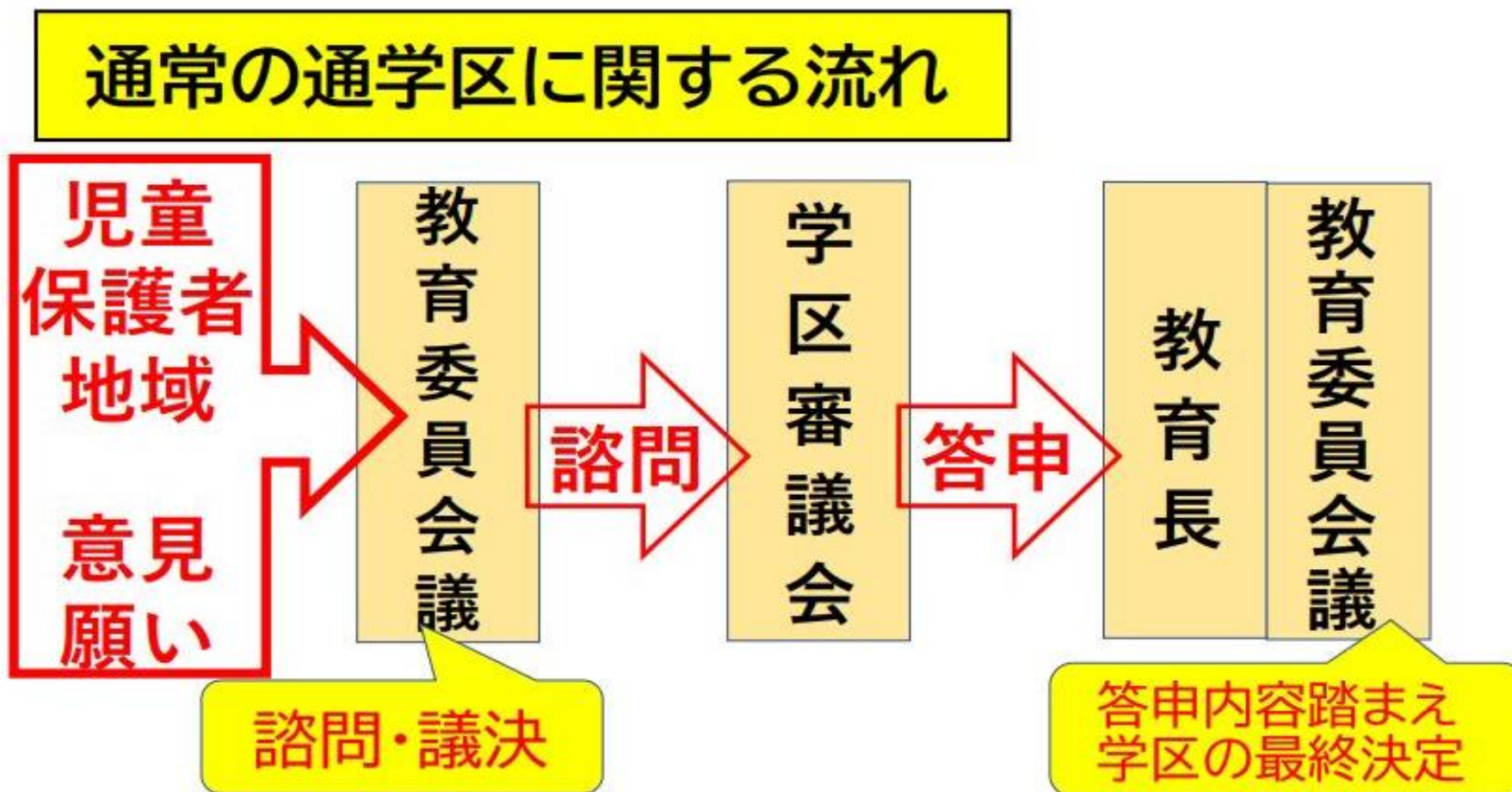


○一般的なプロセス

教育委員会で方針決定 ⇒ 学区審議会に諮問・答申 ⇒ 例規改正

○ふじみ野市でのプロセス

学校運営協議会を中心に課題の共有 ⇒ 教員委員会で方針決定 ⇒ 学区審議会へ



小規模校課題解決の経過

学校運営協議会による熟議（令和4年7月～）

学校運営協議会で保護者や地域代表が小規模校の課題解決策について計5回にわたって熟議

アンケート調査・説明会の実施を決定

保護者・地域と課題解決の必要性を共有

保護者・地域説明会（令和5年1月～）

小規模校の抱える課題や解決策について意見・要望を聴取

保護者・地域・児童・生徒アンケート調査

・説明会参加者総数 207人（累計）

・アンケート回答総数1,040件（累計）

保護者意見交換会 投稿フォームでの意見募集

保護者一人一人の様々な意見を丁寧に伺い保護者と共有

教育委員会において審議

・保護者意見交換会 4回開催

参加保護者14世帯（19人）

・投稿フォームからの意見30件

令和4年

令和5年

令和6年

4 学校運営協議会を中心とした熟議

1. 課題解決に向けた熟議の過程

小規模校における**学校課題（大きな集団への適応に課題）**

⇒ 児童・保護者・地域で様々な意見交換

⇒ 課題解決に向けた熟議



2. 学校課題の共有

教育委員会が主催する説明会などで、

学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員を中心に

保護者・地域と学校課題を共有



3. 小規模校における課題解決策に反映

熟議により得られた児童・保護者・地域の意向や要望

⇒ 課題解決の方針(学校統合)に反映



1. 役割

- 学校課題を解決するための中心的な存在として熟議を深め、児童・保護者・地域での**学校課題の共有**が実現
- 中学校区の地域学校協働活動推進員や自治組織の会長も加わり、保護者・地域の**合意形成**を促進

2. 効果

- これまでの学校運営協議会の取組により構築された連携・協力体制が、地域とともに学校課題の解決（学校統合）を進める熟議の場・基盤として効果的に機能
- 熟議が学校や地域への**愛着**を醸成



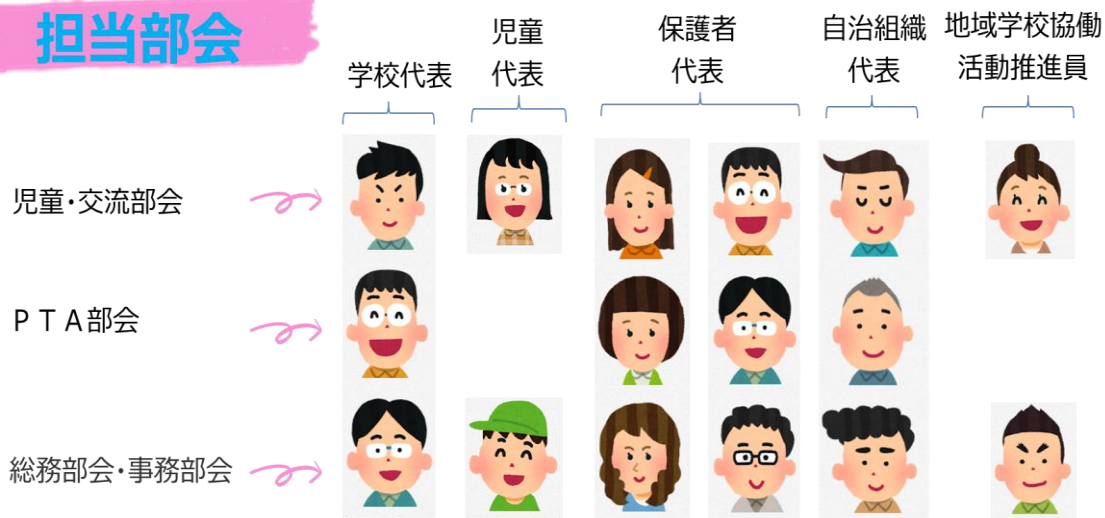
体制の整備

学校運営協議会を中心とした統合準備委員会を組織

⇒ 新校に安心して通学できるように、地域と連携した協力体制の整備へ

東台小・東原小 統合準備委員会 担当部会

児童・学校運営協議会を中心に



統合準備ロードマップ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
交流活動	活動内容の決定												
	交流活動の実施												
通学路等編成 PTA	通学路決定、安全対策の検討									通学班の編成			
	組織（会則・役員選出方法）				年間行事		役員選出		旧PTA会費精算 総会準備				
閉校式 ・記念誌	閉校式内容検討、役割分担、準備									案内発送		開催	
	記念誌内容検討、準備								校正		印刷製本		配付

子どもの学びを真ん中に

令和4年度

■ より多くの人たちと馴染ませるために

⇒ 人とのかかわりUP

- ・異学年との交流活動、合同授業
- ・**地域力**を活用した授業を重視

地域を活用した学年別学習年間カレンダー



地域学校協働活動推進員と学校が協働で作成



地域福祉団体からの学び（点字体験）



地元産業からの学び（製茶工場）

子どもの思いを真ん中に

令和4年度

■ 小規模校の抱える課題を教職員や児童と共有

よいところや少し困ることなど、学校への思いを聴く ⇒ 皆で考えるよう呼びかけ
⇒ こんな学校にしたい『未来の東台小』 ⇒ 1冊の自主学習から学級会へ

校舎・教室が広く、きれい！
友達が少ないので、YouTubeで
学校をアピールしたらいいのでは？



学級会（4年生） 「東台小のよさを知ってもらうためにできることを考えよう」

子どもの学びを真ん中に

令和5年度

■ **地域力を活用した授業、異学年との合同授業・交流活動**を継続

■ ドリーム会議にて、教職員を交えた熟議

「子どもたちにつけたい力と学校・保護者・地域ができること」

『地域』…地域での居場所づくり

東原小・東台小の地域やこども食堂

が協働した、新春お餅つき大会開催

⇒ **両校の地域・保護者の交流がスタート**



両校地域・PTA合同 新春お餅つき大会

子どもの思いを真ん中に

令和5年度

■ 学校課題の解決（学校統合）を教職員や児童と共有

⇒ それぞれの不安や思いに寄り添う機会

市民大会「少年の主張 in ふじみ野」『わたしの大好きな東台小学校』

■ 学校公開「東原小授業参観」

■ 「教育課程」

「学校生活のきまり」

「学習のルール」等のすり合わせ

△ 日課表

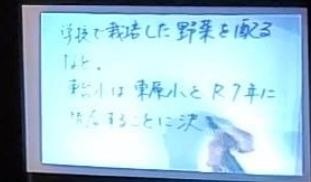


青少年育成ふじみ野市民会議

少年の主張 in ふじみ野

青少年を健全に育てるための市民大会

少年の主張 in ふじみ野



子どもの学びを真ん中に

令和6年度 校内研修『子どもたちの思いを生かした円滑な統合』

■ **新しい環境や大きな集団への適応力を高めるために** ⇒ 東原小とのかかわりUP

【交流授業】総合的な学習の時間、生活、学級活動、体育、音楽、自立

【合同行事】運動会、音楽会、修学旅行、社会科見学、校外学習、交流会

東原小



ジャンプして、2個
同時に投げれば
いいかも！

どうやったらたくさん
玉を入れられるかな？



1年生 運動会 東原小児童との玉入れオンライン作戦会議

■ 新しい環境や大きな集団への適応力を高めるために



3年生 合同遠足



6年生 合同国際理解教育

東原小・東台小学校合同運動会



子どもの思いを真ん中に

■ 子どもたちの心の母校へ

⇒ 交流活動・交流行事（地域への感謝と思い出づくり）

統合準備委員会（児童地域交流部／両校児童『チームイースト』結成）

1学期：航空写真、東台小「学校かくれんぼ」、紫陽花プロジェクト、全校給食

2学期：地域の伝統を学ぶ集い「ほうきづくり」

3学期：ありがとうの会（地域の方と交流給食）、フィナーレ東台



縦割り班で全校給食

■ 子どもたちの心の母校へ

紫陽花プロジェクト【東原小の取組をアレンジ】

地域の方から学び、東台小のアジサイを挿し木で育成 ⇒ 感謝の会で、家や地域にプレゼント
⇒ アジサイが咲く時期に、それぞれが心の母校を思い出す



■ 子どもたちの心の母校へ

地域の伝統を学ぶ集い「ほうきづくり」

保護者・地域にも呼びかけ、長年の学びの集大成へ



今後の課題

令和7年1月 第3回 統合準備委員会（合同学校運営協議会）

『新生 東原小学校の学校経営方針・目指す児童像について』



令和7年度の学校統合後

新生 東原小学校の学校運営協議会において承認

